

牛若丸は立ち止まりました。笛を吹くのをやめて、ゆっくり男を見上げました。
大男は長刀を持っていました。大男は牛若丸の前に大きく足を広げて立ち、長刀で
ドンと橋を叩きました。

「やい、その刀をわたせ。」

牛若丸は薄い布をパツと空に投げて、言いました。

